

様式第7号

議長	副議長	局長	次長	係長	

行政視察報告書

令和 5年 1月 23日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 藤井 義明  議員 蔵本 隆文 
 議員  議員 
 議員  議員 

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 富山県 黒部市議会

住 所	富山県黒部市三日市 1301
電 話	0765-54-2301
視察案件	議会改革について
期 日	令和 5年 1月17日 (火) 10時00分 から12時00分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	黒部市議会
概 要	<p>1 視察の目的</p> <p>黒部市議会は、早稲田マニフェスト研究会で議会改革度の上位にランクインされている。笠岡市議会においても、議会基本条例を制定し、毎期3年目には条ごとに達成度について会派ごとに評価を行い、さらなる議会改革にむけて PDCA サイクルによる作業を行っている。議会改革は、HP 等では詳細に紹介されていないため、他市の取り組み、笠岡市の取り組みをお互いに意見交換し、さらなる市民に寄り添える議会になれるようにする。</p> <p>2 黒部市の概要</p> <p>2006年(平成18年)3月31日に旧黒部市と旧宇奈月町との合併により、現在の黒部市となる。</p>

(1) 位置、地勢

富山県北東部に位置し、北から東には入善町・朝日町・長野県の県境が、南から西は魚津市・上市町・立山町に接しており、面積は427.96 km²で、富山県の10%を占める。年間平均気温は平野部で14℃、年間降水量は平野部で2,277 mm、山間部で4,000 mm以上と、我が国屈指の多雨多雪地帯である。

(2) 人口および世帯（令和4年12月末）

人口：男 19,795人 女 20,277人

合計 40,072人

世帯数：15,792世帯

(3) 産業

旧宇奈月町が中心の黒部峡谷鉄道や宇奈月温泉を含む観光産業と、旧黒部市におけるファスナーやアルミ建材の製造産業がある。

3 黒部市議会（構成）

議員数：17人

常任委員会3：総務文教委員会⑥、生活環境委員会⑤、産業建設委員会⑥

特別委員会3：観光・都市活性化振興特別委員会⑧

デジタル化推進特別委員会⑨

議会改革特別委員会⑩（全議員）

4 視察内容（質問項目に対して）

(1) 議会基本条例について

(ア) 基本条例の検証について

黒部市の議会基本条例は、平成28年4月施行である。検証は、必要に応じて行うとしている。平成31年3月から12月にかけて、議会改革特別委員会（18人全員）で行っている。その結果はHPで公開している。現時点では、笠岡市の第1回目とほぼ同様に、条例掲げている事が行われているか、条例に問題点はないか、という検証にとどまっている。

(イ) 政策提言について

政策提言と言えるのは、一般質問（個人、代表）において行われているにとどまっている。笠岡市のような、委員会でテーマを設けたうえで研究して、提言書として提出するような事は行われていない。

(ウ) 市民参画について

参考人招致、公聴会制度を行っている。

(エ) 議会報告会について

回数は年1回である。会場は、地域へ出向くのではなく市役所で行っている。

令和2年と3年は、議員定数について重ねて行った。市民の声を参考にし、議会改革特別委員会で議論を重ね、その結果、議員定数18人で会ったのが、現在17人となっている。

(オ) 委員会について

委員会での議員（委員）間討議については、委員会においてはほとんどない。議会運営委員は活発に行っている。

特徴としては、委員会で決議後に市長を含む執行部との懇談会のような形式で、様々な点について協議しているとのことである。

(2) ICTについて

平成26年に、議員負担でタブレットを導入。情報のやり取りが中心である。
令和5年には、タブレットによるペーパーレス会議を予定している。また、ズーム等での委員会も視野に入れている。

現在は、ケーブルテレビとユーチューブによる本会議の生配信が特徴的である。

(3) 議会と市長との関係

話し合いをしながら行っているため、特に問題はない。

(4) 議会と市民との関係

小中学生に対して、本会議の傍聴の呼びかけを行っている。これは教育委員かとの連携して行っている。毎年1～2クラス来ている。

5 視察を終えて

・議会基本条例の検証について

黒部市議会では、議会基本条例を制定して6年目のため、条例に対しての達成、条例の不具合に対しての検証にとどまっている。今回の視察では、PDCAサイクルを成立させているかどうかの点に焦点を当てたかったのだが、まだそこまでは至っていないようであった。

・ICTについて

議会放送については、本会議のみではあるが、カメラやその他機器を議会所有のため、生放送をケーブルテレビに提供し、ユーチューブに上げることができている点はうらやましい限りである。

タブレットを使つてのペーパーレス会議も今年度から行われる。これも一般的になっているといえる。

・市長との関係においては、笠岡市の小林市長以前を思い出させるものがあった。これが本来の姿で、現在の状況が以上であると認識せざるを得なかった。

・市民と議会の関係においては、小学校の世代から、議会を身近に感じてもらう努力を意識して行っている点は見習うべきであろう。

添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺

【2】 富山県 滑川市議会

住 所	富山県滑川市寺家町 104
電 話	076-475-2120
視察案件	議会改革について
期 日	令和 5年 1月18日(水) 9時10分から 11時20分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	滑川市議会
概 要	<p>1 視察の目的</p> <p>滑川市議会も、黒部市議会とともに早稲田マニフェスト研究会で議会改革度の上位にランクインされている。黒部市議会同様に、意見交換しながら、良い点を学んでいきたい。</p>
	<p>2 滑川市の概要</p> <p>キャッチコピー：ときめき かがやき ひかりの街なめりかわ</p> <p>(1) 位置、地勢</p> <p>富山県東部に位置し、富山湾に面している。東側は早川川を境に魚津市と接し、南西側は郷川とこれに合流する上市川下流部を協会に上市町と富山市に接している。</p> <p>面積は54.63 km²</p> <p>(2) 人口および世帯(令和4年12月末)</p> <p>人口：男 16,106人 女 16,772人</p> <p>合計 32,878人</p> <p>世帯数：12,817世帯</p> <p>(3) 産業</p> <p>ホタルイカの漁獲量が多く、富山湾沿岸の「ホタルイカ群遊海面」は国の特別天然記念物に指定されている。</p> <p>農業では、稲作(コシヒカリ)、サトイモ、リンゴ、チューリップ球根が主。</p> <p>漁業では、滑川漁港、高月漁港を有している。</p>
	<p>3 滑川市議会(構成)</p> <p>議員数：15人(1名欠番)</p> <p>常任委員会2：総務文教消防委員会⑦、産業厚生建設委員会⑦</p> <p>特別委員会1：情報技術調査特別委員会④(全議員)</p>
	<p>4 視察内容(質問に対して)</p> <p>(1) 議会基本条例について</p> <p>(ア) 基本条例の検証について</p> <p>基本条例の制定が、平成28年9月のため、令和元年に1度目を行っているが、笠岡市の第1回目と同様、PDCAサイクルとまではいかなかったようである。</p> <p>中途半端で終わったとの説明があった。</p> <p>(イ) 政策提言について</p> <p>委員会ではなく、特別委員会で平成28年度から令和元年度にかけ「公共施設の在り方」について、政策提案・提言等を取りまとめ市に提出した。</p>

(ウ) 市民参画について

平成 29 年 3 月定例会から、土曜議会を開催。毎年 3 月に行っている。傍聴者にアンケートを実施し、議会運営に反映させている。

定例会等のポスターを、中学校の美術部に協力してもらい、定例会のアピールに役立っている。また、子ども議会は、以前から行っている。

(エ) 議会報告会について

年 1 回で、開催場所は 1 か所としている。平成 29 年 4 月から始め、令和元年までの 3 回は毎年、コロナの影響を考え第 4 回は令和 4 年 1 月に開催している。

参加数は、1 回目から、25 名、29 名、23 名、4 回目は 6 名と少なくなっている。コロナ前の 3 回目には、会話しやすい雰囲気を出すため、4 グループに分け、お茶、茶菓子を用意して、話しやすくできるよう努めている。特に 3 回目では、テーマが議員のなり手不足や、報告会のやり方等の議会自身の件もあったので、意見を求めるには効果的な方法であろう。

4 回目は、滑川高校の生徒と意見交換会を、コロナ渦で人数を制限して行っているものの、選挙権を得る年代にとって良い選択であろう。

(オ) 委員会について

委員会中の自由討議は、委員会を休憩することなく別室で行っている。しかし、今回の視察対応議員からは「市民は自由討議を聞きたいであろうと思う」という意見が出た。そして、今後はそれについて検討したいと思っている、という意見であった。

(カ) 反問権について

反問権は付与しているが、使われたことはない、との事である。

(キ) 政務活動費について

現在月額 3 万円である。平成 22 年の 2 万円から、2 万 5 千円と徐々に上がっていく。

金額については、富山市議会の不祥事問題があったこともあり、今は変更等は考えていないし、概ね適正であると考えている。

(キ) 報酬について (ク) 議員定数について

報酬は、月額 3 万 4 千円である。

滑川市商工会議所からの要望に答える形で、令和 2 年 3 月に全議員による「議員定数及び報酬検討特別委員会」を組織し協議する。商工会議所との意見交換も行ったがコロナ渦で協議の開催が出来なかったため、令和 5 年度中に協議を再開予定。

ただし、市議会議員選挙が無投票だった年があり、議員定数を 15 名にしたのは、少々後悔もしているとの事。

(ク) 情報公開について

議会に関する様々な情報を、ホームページ、議会報で公開。

滑川市議会も黒部市同様に、議会放送の設備を持っている。放送内容をケーブルテレビに提供するとともに、ユーチューブに同時にアップする事が出来ている。現在は本会議に限っているが、笠岡市が委員会も行っていることで考えてみたいと言われた。

(2) ICT について

全議員で構成する情報技術調査特別委員会を設置し、令和 5 年度タブレット導入に向け協議をしている。

今年度、タブレットにおける会議システムを導入している先進地視察を行い、具体的な使用基準や運用等について検討中である。

(3) 議会と執行部について

毎定例会ではほぼ全部の議員が質問をしており、また、当局の予算案に対し、修正案を出すこともある。

今後は、議会側からの政策提案等に、より積極的に取り組みたい。

(4) 議会と市民について

コロナ感染拡大が長期化する中、議会や議員活動の「見える化」につながる広報公聴の活動等が十分に実施できず、認知されているとは言い難い。

3月の土曜議会では、地元高校生等に呼びかけ、傍聴してもらっている。また、中学校や高校の美術部にポスター案や議会だより時代の作成を依頼し協力してもらっている。(ポスター：公共施設、ショッピングセンター等に掲示)

毎定例会ごとに、市内のショッピングセンターの協力のもと、「なめりかわ視議会(しぎかい)」というネーミングで、空きスペースに議員の等身大パネルを置き、首に設問内容を書いたボードを掛け、市民に一般質問の内容について関心を持ってもらうようにしている。

5 視察を終えて

議会基本条例については、黒部市議会同様に制定から数年のため、滑川市議会の理想としている PDCA サイクルに到達していないと言われたが、理想内容は私たちの理想とするより高度な設定であった。これは、大学との連携で進めているためと思われる。

滑川市議会では、市民との接点に相当配慮し、努力されているのが見受けられた。やはり市民との情報共有を大事に考えている。

ICTについて、タブレットにおける会議システムはこれからである。笠岡市は5年前から導入しているため、そのメリット、デメリットを説明し、貢献することができた。

議会放送に関しては、笠岡市のように委員会、分科会まで生中継してはいなかったが、ユーチューブを活用している点は良かった。笠岡市の場合、画像の所有権の問題があるが、中継されない島しょ部や、テレビも前に長時間いれない方、若者等に対して、何とか実現したいと考える。

添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺